

(令和7年度)

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）の運営について

当施設は、平成12年に「大学のまち・京都」「学生のまち・京都」のシンボル施設として、大学間の交流促進をはじめ、大学と産業界、地域社会などとの連携及び交流促進を目的として開設した施設です。

施設の主な取組（概要）

【講義室等の貸出】

<施設利用案内>

講義室、演習室、会議室、ホール、和室等、少人数から約280名まで利用できる部屋を備え、講義、演習、会議等又は大学に関する情報の収集及び提供、大学と産業界、地域社会の協力による豊かな地域社会の形成に資する調査及び研究並びに人材育成のために利用することができます。



【交流スペースの設置】

京都のまちで主体的に活動を行う学生団体等が、会議や作業、情報の発信・集約の場として、また、学生同士や学生と地域の方、企業の方との交流の場として活用いただけるスペース「学生Place+」を設置しています。

施設の利用状況（令和6年度の概数）

- 年間約26万3千人の方々にご来館いただいています。
(令和5年度26万人、令和4年度24.2万人、令和3年度15.9万人)
- 貸室の利用率は約50%となっています。

施設運営に関する支出・収入（令和5年度の概数）

利用者1人あたりに換算すると、上記の取組等の施設運営にかかる年間の支出は560円（総額1.5億円）、講義室等の貸出による年間の収入は430円（総額1.1億円）です。このほか、施設を利用しない方も含めた、市民の皆様からの税金を活用し、運営しています。

<支出：560円（総額1.5億円）>

人件費 40円	事業費 520円
------------	-------------

<収入：430円（総額1.1億円）>

施設使用料 430円	差額130円 市民の皆様からの税金を活用
---------------	-------------------------